

**研究主題** **豊かに生きる力の育成**  
**～自分を知り「なりたい自分」に近づくキャリア教育の実践～**

**1 題材名 「なかよく なれたかな」(イ よりよい人間関係の形成)**

**2 題材の目標**

仲良くなれたよさを実感し、より楽しい生活をしていくための方法を話し合い、自分のめあてをもち実践できるようにする。

**3 本単元の評価規準とキャリア教育を通して育みたい力(評価規準マトリクス)**

低学年の基礎的汎用的能力(夢4)		よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
人や社会と関わる力  【人間関係形成・社会形成能力】	・自分の思いを友達に伝える力	①友達との関わりをよりよくすることの大切さを理解し、そのための方法や仕方を身に付けている。		①友達への関わりをよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、進んで課題解決に取り組み、他者と仲良くしてよりよい人間関係を形成しようとしている。
自分をみつめる力  【自己理解・自己管理能力】	・周りからよいところを教えてもらい、自分のよさに気付く力		①友達との関わり方についての諸課題を知り、友達への関わりをよりよいものにするための方法について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	
課題をやりぬく力  【課題対応能力】	・自分のめあてをもつて実行する力			
次につなげる力  【キャリアプランニング能力】	・自分の課題に気づき、次に生かそうとする力			

※キャリア教育と関連が密接なものはゴシック体・太字

## 4 部会提案

### (1) 児童の実態と題材観

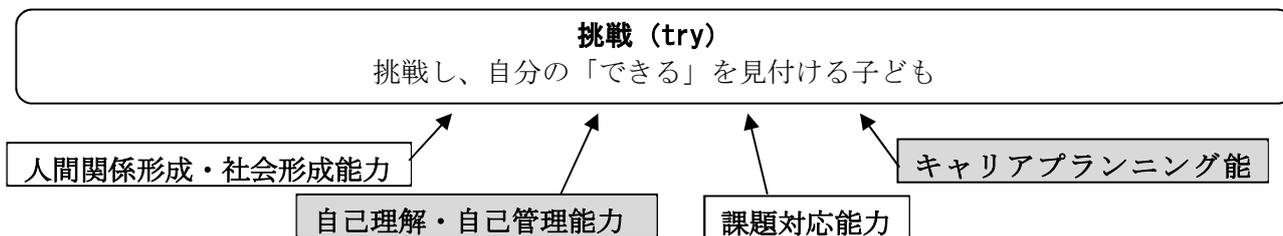
本学級は、元気で素直な児童が多い。当番活動にも意欲的に取り組んできている。友達との関係もおおむね良好で、すすんで話し合いをしたり、男女分け隔てなく関わったりすることができる。しかし、中には友達との適切な関わり方がわからず、手が出てしまったり自分の気持ちを押し付けたり、また伝え方が分からずに沈黙したりしてしまう児童もいる。そのため、子ども同士のトラブルがあった時は相手の気持ちを考えさせたり適切な行動や言動について示したりして指導してきた。

学級目標では、児童に「3月にどんな1年生になりたいか」「3月までにどんなクラスにしたいか」を考えさせ、子どもたちの思いを踏まえ、「たのしくげんきなクラス」「なかよくたすけあうクラス」「さいごまでやりぬくクラス」と決定した。学級目標については、日々振り返るようにしており、めあてを意識しながら生活することができている。その中で「なかよくたすけあうクラス」については、1学期に行った授業を踏まえて夢4ファイルを活用して振り返りを重ね、友達と楽しく関わることができる機会を増やしてきた。

本時では、これまでの学習を生かし、どうして仲良くなれたかアンケートを取り、アンケート結果の低かった項目についてどうすればいいかを考えることを通して、今後もっと多くの友達との関わりを増やしてほしいという願いを込めて、本題材を設定した。

キャリア教育の視点では、この題材を通して、特に「人間関係形成・社会形成能力」を育んでいきたい。そのために、本題材では、自分と異なる意見や考えについて触れ、積極的に交流する力を伸ばし、協力していく力の素地を培いたい。

### (2) 低学年の目指す児童像



### (3) 目指す児童像を実現するための手だて

<p><b>【手だて1】: 「なりたい自分」をイメージしやすくするために</b></p> <p>○ <b>アンケートやロールプレイングを効果に使用する</b> 子どもたち一人ひとりが「みんななかよく」ということについて考えられるようにする。アンケートでは、1学期に比べてみんなと仲良くなれたか回答を集計して視覚化することで、クラスの現状を全体で把握できるようにする。また、仲良くなれた方法について考えたり知ったりして、少しでも多くの友達と関わろうと思えるようにしていきたい。</p> <p>○ <b>夢4ファイルの活用</b> これまでのワークシートから実践を振り返り、仲良く楽しく生活できる良さを感じられるようにする。</p>	<p><b>【夢4】</b></p>  
<p><b>【手だて2】: 実践 (= 挑戦) への意欲付けとなるようにするために</b></p> <p>○ <b>夢4ファイルの活用</b> めあてを達成した時に、夢4ファイルにとじてあるワークシートに色を塗っていくことで達成感を得られるようにする。</p> <p>○ <b>振り返りの時間の設定</b> めあてを達成している友達を見付ける時間を設定し、よりよい人間関係の形成を促す。</p>	<p><b>【夢4】</b></p>  

## 5 指導計画

	日時	児童の活動	◆指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
事前	1/10	○仲良くなれたかどうかのアンケートに答える。 ○仲良くなるために行っていることについて、アンケートに答える。	◆学級目標を意識させながら書くように促す。 ◆7月から続けている実践を振り返りながら書く。 ◆関心をもって生活させ、意識を高めておく。	【思・判・表①】 アンケートを記入し、 <u>友達との関わり方についての諸課題について考えている。</u> (観察・アンケート) 
本時	2/2	「本時の活動」参照	「本時の活動」参照	【思・判・表①】 <u>友達への関わりをよりよいものにするための方法について考え、前向きに話し合っている。</u> (発言・ワークシート)   【思・判・表①】 <u>自分の課題に合った具体的なめあてを決めている。</u> (発言・ワークシート) 
事後	適宜	○意思決定したためめあてを意識して実践する。 ○実践したことについて振り返る。 ○本時で取り上げなかったスキルについて取り上げる。	◆一人一人のめあてを夢4ファイルにとじ、実践への意欲付けとなるようにする。 ◆めあてを達成している友達を見付ける機会を設定する。 (帰りの会等)	【主①】 <u>他者と仲良くしてよりよい人間関係を形成しようとしている。</u>  【思・判・表①】 意思決定したことを実践している。  【知・理①】 友達との関わりをよりよくすることの大切さを理解し、そのための方法や仕方を身に付けている。

※波線はキャリア教育の視点

## 6 本時の学習（1時間扱いの1時間目）

### (1) 本時の目標

仲良くなるために必要な要点について考え、これからもみんなと仲良くするための方法を話し合っ、自分のめあてをもち実践できるようにする。

### (2) キャリア教育の重点

◎アンケートから学級や自分の課題について知り、改善できることについて話し合い、視野を広げて個人目標の意思決定へと向けることを通して、自分の思いを友達に伝える力を育む。

#### 【人間関係形成・社会形成能力】

### (3) 展開

段階	学習活動	教材, 教具, 学習形態	指導・支援 (○) 評価 (●)
導入 5分 つかむ	1 本時の課題を知る。  ・アンケートの結果を見て、感じたことを発表する。  ・アンケートから自分の問題点を把握する。	・アンケート結果	○アンケートの結果を見て、学級目標が達成されつつあることを実感し、よりよい人間関係にさらに必要なことが何かを考えられるようにする。
なかよく なれたかな			
展開 35分 さぐる みつける	2 アンケート結果の中で、結果が低かったものについて理由を考える。  3 コミュニケーションスキルを身に付けられるようにロールプレイングを行う。	【個人】 → 【グループ】 → 【全体】  【全体】	○アンケート結果から改善できる点について考えられるようにする。  ○良い点を具体的に見付け、価値付ける。 ○みんなと仲良くするためには、いろいろな関わり方があることを具体的に確認していき、相手の気持ちを感じられるようにする。  ● <u>友達への関わりをよりよいものにするための方法について考え、前向きに話し合っている。</u> 【思・判・表①】 (発言・ワークシート)
終末 5分 きめる	4 よりよい人間関係を目指し、自分ができることを考え、めあてをカードに記入する。	【個人】 ワークシート	○自分が実践できる具体的な内容を書くように伝える。  ●自分の課題に合った可能な取組や方法を決めている。 【思・判・表①】

※波線はキャリア教育の視点

## 7 板書計画

なかよく なれたかな。

みんなと なかよく アンケートのけっか

はい

いいえ

人

人

なかよくなるコツ アンケートのけっか

ともだちとなかよくできると

- ・たのしくすごせる。
- ・たすけあえる。
- ・一人ではできないことができる。

きめる

なかよし名人になるためには  
どうすればいいだろう。

- ・あいさつをする。  
→されたらかえす。
- ・じぶんからはなしかける。  
→やすみじかん、きゅうしょくのとき。
- ・じぶんのことをしてもらおう。  
→すきなことをはなしてみる。  
→ともだちのすきなことをきいてみる。
- ・いっしょにあそぼうとしてみる。  
→いわれたら「いいよ」とかえす。  
→～だから、こんどあそんでね。